

平成24年度

決算

まちの財政は、一般会計のほか5つの特別会計を設けて運営しています。このほど平成24年度の各会計の決算とこれに基づく健全化判断比率などがまとまりましたので、その内容についてお知らせします。

すべての会計決算は、監査委員の意見を付して去る9月18日開会の第3回町議会定例会に提出し、決算審査特別委員会に付託されましたので、12月の第4回町議会定例会において認定の可否が審議されます。

決算は、まちづくりを進めていくうえで予算がどのように使われたのか明らかにしたものです。その内容を詳しく見てみましょう。

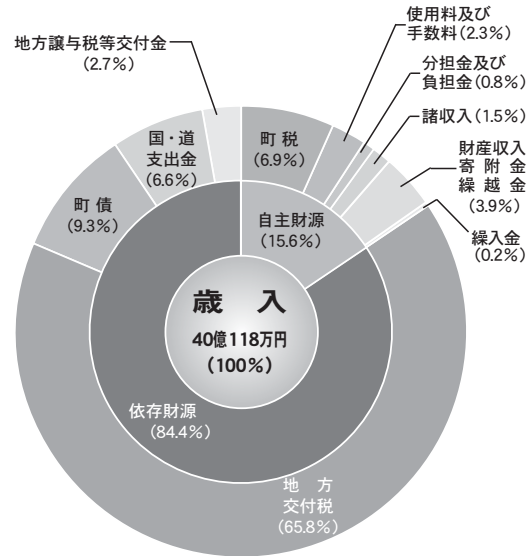
一般会計支出総額 38億2,624万6千円

5特別会計支出総額 9億4,912万4千円

◆一般会計歳入決算額

区分	決算額	構成比	前年度増減
町 税	2億7,415万2千円	6.9%	△ 806万3千円
地方譲与税等交付金	1億0,972万6千円	2.7%	△ 1,063万5千円
地方交付税	26億3,378万8千円	65.8%	2億6,245万2千円
分担金及び負担金	3,402万7千円	0.8%	△ 180万4千円
使用料及び手数料	9,294万2千円	2.3%	145万2千円
国・道支出金	2億6,224万6千円	6.6%	△ 7,075万3千円
財産収入	7,665万9千円	1.9%	1,980万9千円
寄附金	239万9千円	0.1%	77万0千円
繰入金	709万0千円	0.2%	355万1千円
繰越金	7,665万6千円	1.9%	416万1千円
諸収入	6,111万9千円	1.5%	1,065万3千円
町 債	3億7,037万6千円	9.3%	2,567万4千円
歳入合計	40億0,118万0千円	100.0%	2億3,726万7千円

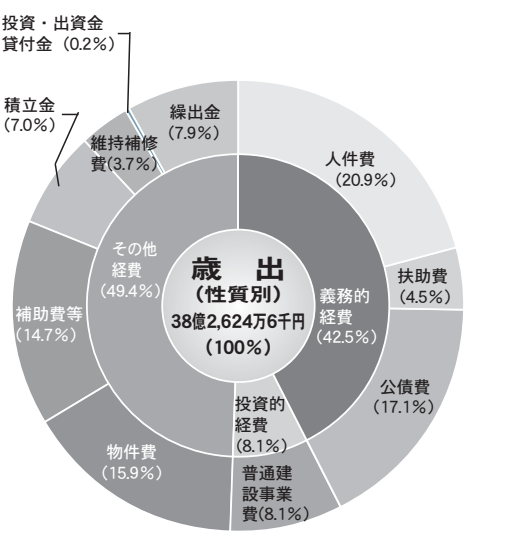
◆歳入構成図



◆一般会計歳出決算額

区分	決算額	構成比	前年度増減
人件費	7億9,839万1千円	20.9%	△ 1,213万0千円
物件費	6億0,823万8千円	15.9%	△ 3,698万1千円
扶助費	1億7,312万1千円	4.5%	242万9千円
補助費等	5億6,291万9千円	14.7%	△ 171万1千円
維持補修費	1億4,211万2千円	3.7%	△ 6,029万3千円
普通建設事業費	3億0,910万7千円	8.1%	1億3,128万0千円
公債費	6億5,439万7千円	17.1%	1,055万2千円
積立金	2億6,673万8千円	7.0%	1億5,987万4千円
繰出金	3億0,365万3千円	7.9%	4,056万0千円
投資・出資金・貸付金	757万0千円	0.2%	541万0千円
歳出合計	38億2,624万6千円	100.0%	2億3,899万0千円

◆歳出構成図



◆収支

区分	平成24年度	平成23年度	増減
差引収支	1億7,493万4千円	1億7,665万7千円	△172万3千円

用語解説

- 人件費：職員給与や議員・各種委員会委員報酬などの経費
- 物件費：施設管理や物品購入、旅費などの経費
- 扶助費：老人医療助成、児童手当などの経費
- 補助費等：富良野広域連合などへの負担金および各種団体への補助金経費
- 維持補修費：道路の維持および除雪経費、公共施設の補修経費
- 普通建設事業費：公営住宅、町道整備などの公共事業経費
- 公債費：借入金の返済金
- 積立金：各種基金への積立金
- 繰出金：簡易水道、下水道会計など特別会計への繰出金
- 貸付金：奨学資金や水洗化改造資金の貸付金
- 義務的経費：人件費などその支出が義務付けられている経費
- 投資的経費：道路、住宅などの公共事業経費
- その他の経費：義務的経費、投資的経費以外の経費

町民一人あたりの収入額 144万0千円

平成24年度の一般会計の決算額は、収入総額40億118万円で前年度に比べて2億3,726万7千円(6.3%)増加しました。これは、国の経済対策に関連する国・道支出金が7,075万3千円減少した一方で、特定中山間保全整備事業などの財源とする町債(借入金)が2,567万4千円増加したことや、収入総額の約6割を占める地方交付税が、財政状態の厳しい過疎地域などへの配慮がされ2億6,245万2千円増加したことなどが主な要因です。

また、町税などの自主財源は1割となっており、まちの財政運営は、国に大きく依存していると言えます。

町民一人あたりの費用額 137万7千円

支出総額は、38億2,624万6千円で前年度と比べて2億3,899万6千円(6.7%)増加しています。これは、平成23年度からの繰越事業であるデジタルテレビ中継局整備

町民一人あたりの借金残高 289万8千円

平成24年度末の借入金の残高は、一般会計で63億5,259万8千円、特別会計で17億2,066万7千円、総額は80億5,466万5千円となっております。前年度末より2億8,411万7千円(町民一人あたり4万6千円)減少しています。

町民一人あたりの預金残高 64万2千円

各会計の歳入不足を補うために積み立てている基金の残

事業や、林道専用道開設事業などに係る普通建設事業費が1億3,128万円増加、更に、公共施設等整備基金などへの積立金が1億5,987万4千円増加したことなどによるものです。

また、財政状況のゆとりの目安となる経常収支比率は77.9%と、前年度と比べて1.5%改善していますが、依然として財政は硬直化しています。

なお、各収入額と支出額は3ページのとおりでです。

◆町税の内訳

項目	収入額	構成比
町民税	1億2,297万8千円	44.9%
固定資産税	1億3,134万5千円	47.9%
軽自動車税	434万6千円	1.6%
町たばこ税	1,516万4千円	5.5%
鉱産税	31万9千円	0.1%
合計	2億7,415万2千円	100.0%

町民一人あたりが納めた町税 9万9千円

町民皆さんに納めていただいた町税の総額は、前年度より806万3千円減少の2億7,415万2千円となり、収入総額の6.9%の割合となっております。

なお、町税の内訳は次のとおりです。

高は、平成24年度末で17億8,382万1千円となっており、前年度末より2億5,965万9千円(町民一人あたり10万4千円)増加しています。